

才能

— Talents —

多様な才能が開花

スポーツ、芸能、芸術、学問など、幅広い分野において数多くの著名人を輩出している佐倉市。開花する多様な才能は、まちが誇る大切な財産です。

A diversity of blooming talents

The city has produced distinguished people in many fields, including sports, entertainment, arts, and academia. This blooming talent is a resource the city takes pride in.

花開くまち、佐倉市

Sakura: A City in Bloom

風情あるまちなみの中、色とりどりの花が咲き誇る佐倉市。

ここは、多彩な学芸や才能が産声をあげ、大成するまちです。

見事な花が開くまち、佐倉市の姿を見てみましょう。

文化

— Culture —

人と人が共創する文化

文化の担い手は「人」。受け継がれてきた伝統や世代間の交流を礎として、音楽や芸術に新たな息吹が与えられています。

Culture jointly created by people

People are the leaders of culture, and these leaders breathe new life into music and arts based on traditions and interaction between generations.

未来

— Future —

笑顔で満開の未来に向けて

都市と自然のほどよいバランスや、伝統・歴史に根ざしたまちづくりが魅力の佐倉市。多くの人が自分らしい暮らしを楽しみ、人との温かいつながりが形成されています。

Toward the future filled with smiles

A balance between an urban setting and nature, and community development rooted in traditions and history create a pleasing environment enabling many to enjoy their own unique lifestyle.

産業

— Industry —

人とともに、地域とともに

市内には、地域とのつながりを大切にしながら操業してきた企業や、新たな挑戦をする人々が活躍しており、明日への活力を生み出しています。

Together with the people and region

Companies with strong regional ties and people taking up new challenges are active in the city. They create energy fueling the future.

自然

— Nature —

自然の恵みとうるおい

一年を通して色とりどりの花々が咲き誇り、印旛沼の美しい風景が広がる佐倉市の自然は、人々の心をいやすとともに、農産物をはじめ、様々な地の恵みをもたらしています。

The richness and blessings of nature

The beautiful landscape of Imbanuma Lake and seasonal flowers extend through the city, and the nature that soothes our soul brings a wealth of blessings from the land.

才能

— Talents —

多様な 才能が開花

佐倉市は、多くの著名人を輩出するまちです。
そんな「人」の声に耳を傾けると、
子どもたちの夢や挑戦を、
力強く応援するまちの姿が見えてきます。

- 1 佐倉ふるさと広場のひまわりガーデン。まちを彩る豊かな自然が子どもの感受性を育みます。
- 2 車いすバスケットボールを体験する子どもたち。多様なスポーツにふれる機会があります。
- 3 緑あふれる佐倉城址公園。多くの子どもたちが誇る、まちの歴史を象徴する場所です。
- 4 佐倉市ラグビースクール。30年以上の歴史を持つ日本ラグビーフットボール協会公認のスクールです。
- 5 小出義雄記念陸上競技場。選手・指導者として活躍した小出氏の功績を称え、同氏の名を冠しました。
- 6 佐倉の秋祭りでは、子どもたちが中心となって、佐倉囃子を奏でます。
- 7 自然の中で遊ぶ子どもたち。キャンプやカヌーなどの体験をできる場所も数多くあります。

DATA

「佐倉市が好き」な市民割合

79.6%

資料：佐倉市「令和元年度市民意識調査」





5



6



7

開花前線 Column

長嶋茂雄少年野球教室

野球を通じて、スポーツの楽しさや魅力を紹介するとともに、競技力の向上などを図るため、巨人軍OB選手による野球教室を開催しています。子どもたちは、憧れの選手から直接教わることができ、将来への夢が大きく広がります。



Interview

SAKURA VOICE



俳優・ミュージシャン

藤木直人さん

Naohito FUJIKI

佐倉市出身。1995年(平成7)俳優デビュー、1999年(平成11)CDデビュー。大河ドラマをはじめ、数々の人気ドラマに出演。ラジオ、舞台と幅広く活躍し続けている。

佐倉高校での日々は、 かけがえのない経験でした。

少年時代を佐倉市で過ごしました。当時、近所の空き地で、よく父や兄と一緒に草野球をしていましたね。時々実家に帰ると、ユーカリが丘の辺りなど、きれいな店や住宅街ができてすっかりまちなみが変わったなあと思います。一方で、大人になり、佐倉の歴史や自然の魅力にも改めて気づきました。釣りを始めたので知りましたが、印旛沼はバス釣りの名所なんですね。

高校は佐倉高校でした。藩校をルーツに持つ歴史ある学校にもかかわらず、自由な校風だったことが印象に残っています。何よりも、そこで出会った友人たちと過ごした日々はかけがえのない思い出です。ギターを始めたのも、高校で友人に誘われたのがきっかけでした。同級生とは今も連絡を取り合っていて、ライブや舞台に来てくれたり、一緒に食事をすることもあります。

今、演技や音楽を生業としていますが、僕は学生時代に「何か特別な努力をしてきた」という自負はなくて、どちらかというと、のほほんと過ごしてしまったかなと感じています。でも、その時期の、佐倉をはじめとする多くの場所での出会いや経験、そこで受けた刺激やご縁が重なって、今の自分自身が成り立っているのだと思います。今、夢を追っている佐倉の子どもたちにも、ぜひ、学生生活を楽しみ、青春を謳歌してほしいです。

花咲く才

— 佐倉が誇る「人」—

Blooming talents The pride of Sakura: Our people

プロ野球監督

長嶋茂雄さん

Shigeo NAGASHIMA



佐倉は懐かしい故郷だ。生まれ育って高校を卒業するまで、どっぷりと浸り込んできた。プロ野球に進んで60数年東京に移り住んでいるが、佐倉は常に身近で、忘れることのない親しみに溢れた土地である。

時代の流れで市内のあちこちに多少の変化も出てきていると聞か、佐倉が長年に渡って培い、誇りに思っている歴史、文化、自然環境には基本的に変わりがない。多くの人がこの佐倉の魅力を探索されて、しっかり感じ取って貰えることを願っている。

Profile

1936年生まれ。1958年、読売ジャイアンツ入団。本塁打王、打点王、新人王に輝く。現役引退後は同団の監督を務め、2001年に勇退、終身名誉監督に就任。2002年佐倉市名誉市民。2013年市民栄誉賞。

プロ野球選手

重信慎之介さん

Shinnosuke SHIGENOBU



©読売巨人軍

Profile

1993年生まれ。2015年、ドラフト会議で2位指名を受け、読売ジャイアンツに入団。ポジションは外野手。右投左打。

佐倉市は、長嶋茂雄記念岩名球場でプレーしたことをはじめ、たくさんの思い出が詰まった地です。また、ふるさと広場の風車に象徴されるように、佐倉市はオランダに縁のあるまちです。小学生の頃、通っていた市内の学校とオランダの学校との間に交流があり、オランダに派遣されたことがありました。その時の海外経験で学んだことは、今も生きているのではないかと思います。

「レギュラー奪取と日本一」を目標に、これからも頑張っていきたいです。

プロサッカー選手

永戸勝也さん

Katsuya NAGATO



©KASHIMA ANTLERS

Profile

1995年生まれ。2017年、Jリーグ・ベガルタ仙台に加入。2020年より鹿島アントラーズに所属。ポジションはDF。

高校までの約18年間、佐倉市で過ごしました。近所の公園でひたすらサッカーボールを蹴った小さい頃からの経験が、今につながっていると思います。

思い出の場所はユウカリが丘。買い物もできて、映画館もあって、特に中学生の頃よく遊んでいました。今はスターバックスもあるんですね。

鹿島アントラーズのホームタウンは佐倉市とも近いので、昔からお世話になった人たちにチームが勝つこと、自分が活躍する姿を届けられるよう、精一杯頑張ります。

花開くまちの礎

佐倉の先覚者

The foundation of a city in bloom
The pioneers of Sakura



堀田正睦

Masayoshi HOTTA

幕末期に2度老中を務め、動乱の日本を開国に導いた佐倉藩主。藩の改革も進め、佐倉が蘭学の先進地となる下地を作りました。



堀田正倫

Masatomo HOTTA

正睦の子で最後の佐倉藩主を務めました。佐倉の教育・産業の振興に尽力し、地域の人々にも親しまれた人物です。



佐藤泰然

Taizen SATO

日本の近代医学の先駆者。蘭医学塾兼診療所の「順天堂」を開き、治療に当たるとともに、進んだ医学教育を行いました。



佐藤尚中

Takanaka SATO

泰然の弟子で後継者となった人物。医師として優れた技量・知識を持ち、近代日本の医療を支える多くの人材を育てました。



佐藤進

Susumu SATO

尚中の長女・志津と結婚し順天堂の後継者となりました。明治時代にドイツへ留学し、アジア初の医学博士となった人物です。

漫画家

筒井大志さん

Taishi TSUTSUI



Profile

1982年生まれ。2008年、「エスプリ」でデビュー。現在『週刊少年ジャンプ』で「ぼくたちは勉強ができない」を連載中。

佐倉市は美しい景観の広がる素晴らしいまちです。公園も多く、学校帰りによく七井戸公園などに寄り、友人と遊び回っていました。白井南中学校での学生時代には、ノートに漫画を描いては、友人や先輩に読んでもらっていました。当時のそんな経験が、読者を意識した漫画づくりにつながっています。

今後も、「できないと思わない」「やると決めたらやる」「今ある幸せに感謝」をモットーに、挑戦を続けていきたいです。Nothing is impossible!

脚本家・映画監督

上村奈帆さん

Naho KAMIMURA



Profile

1988年生まれ。「蒼のざらざら」、「ばあちゃんロード」、「書くが、まま」等の作品で注目を集め、多数の賞を受賞。

佐倉市で18歳までの時を過ごしました。どこまでも続く青空と田園風景や、祖母と手をつないで歩いた近所の通りなどの記憶が、私の活動の原風景になっています。

現在は市内をロケ地に映画撮影もさせていただいています。王子台小学校や岩名運動公園は、青春時代の思い出に映画撮影の経験が加わり、一層大切な場所となりました。

映画の道は厳しいですが、私が物語に助けられたように、自分も物語で誰かにとっての何かなになれるよう、創作活動を続けていきたいです。

女流棋士

小高佐季子さん

Sakiko ODAKA



Profile

2002年生まれ。2018年に女流2級に昇級し、正式な女流棋士となる。2019年、女流1級昇級。田丸昇九段門下。

佐倉市は歴史が深く、自然の美しいまちです。通っていた小・中学校も縁に囲まれていました。そこで出会った先生や友人が将棋を応援してくれ、嬉しかったです。特に、小学校の担任の先生が、大会での入賞を褒めてくださったこと、県の表彰者に推してくださったことが自信につながり、大会でも勝てるようになりました。

将来はタイトル獲得が目標です。「この人の将棋はおもしろい、勉強になる」と思ってもらえる将棋を指せるようになりたいです。

お笑いタレント・歌手

AMEMIYAさん

AMEMIYA



Profile

1978年生まれ。2011年、「R-1ぐらんぷり」初出場で準優勝。「シンガーソングライター芸人」として注目を集めている。

どうも!「♪冷やし中華はじめました」のAMEMIYAです。

小6から高校卒業頃まで佐倉市在住でした。親が市内に家を買ったんです。当時は正直「佐倉」好きじゃなかった。理由は「周りにヤンキーが多いと感じていた」から。ポンタン、短ラン…ビビってたんですね。しかし、昨年佐倉市でロケがあり、「すっげえ良いところじゃん!」と思いました。江戸風情が残り、自然豊かで程よい田舎。都心から来やすく、素敵なお店もたくさん!両親が佐倉市を選んだ理由がわかったような気がしました。「大人になるほど住みやすい、魅力的な街」。佐倉市、おすすめです!



浅井忠
Chu ASAI

近代洋画の発展に努め、現代洋画界に大きな影響を残した洋画家です。代表作に「春畝」「収穫」「グレーの秋」等があります。



香取秀真
Hotsuma KATORI

日本の鍔金工芸作家の第一人者。伝統をふまえながら、新たな造形を模索した制作を進め、歌人としても活躍しました。



津田信夫
Shinobu TSUDA

香取秀真と双璧をなす鍔金工芸作家です。ヨーロッパに留学し、新しい工芸の姿を模索するなど大きな影響を与えました。



津田仙
Sen TSUDA

西洋野菜栽培をはじめ近代農業の普及に努めた人物です。多分野で活動し、キリスト教精神に基づく教育なども展開しました。



佐藤志津
Shizu SATO

尚中の長女で、進と結婚し女性の社会参加を支援しました。私立女子美術学校の校主・校長を務めたことで知られています。



津田梅子
Umeko TSUDA

女子高等教育に情熱を注いだ、津田塾大学創設者です。わずか6歳で渡米し、帰国後は教育者として尽力しました。

©津田塾大学
津田梅子資料室

©津田塾大学
津田梅子資料室

テレビ朝日アナウンサー

三谷 紬 さん

Tsumugi MITANI / Newscaster

数々の著名人を輩出する佐倉市は、「才能が開花するまち」。
佐倉市で生まれ育ち、アナウンサーとして活躍する三谷さんに、
夢を実現するまでをうかがいました。

佐倉で過ごした記憶
ご近所との温かいつながり

私の実家は新町で江戸時代から続く呉服店を(両親が)営んでいます。ご近所にも老舗や代々このまちで暮らしていっしょにかたが多く、地域ぐるみのお付き合いや交流がとても盛んです。私も子どもの頃から、近所のおばあちゃん、おじいちゃんをはじめ、たくさんの大人に見守られながら育ちました。

新町のまちなみにも象徴されるように、佐倉市は、歴史・伝統の深いまちですね。中学生の頃、歴史の授

業で堀田正睦について学んだ時は、「私の住んでいるところに、こんな偉人がいたんだ!」と感激しました。自分のまちが歴史の舞台だと知り、子ども心にとても嬉しかったことをよく覚えています。地域のかたから、「佐倉には、昔、佐藤泰然という人がいてね」、「秋祭りの発端はね」など、まちのルーツを教わることも度々ありました。そんな中で、故郷を誇り、愛する気持ちが大きくなりました。同世代の友人たちも、やはり生まれ育ったまちへの愛着があり、伝統行事の秋祭りが開催される時などには、ぜひ今年も参加

才能の
開花の種は
ココに!



佐倉の秋祭り

物心ついた時から参加していたという、佐倉の秋祭り。地域の人との結びつきを深められる機会でもあるそうです。

したい、山車や御神酒所を曳きたいと、みんな駆けつけてくるんですよ。

秋祭りは私にとっても特別なお祭りです。物心ついた時から御神酒所の中にいたくらい、秋祭りとともに成長してきましたから。今は友人と近況報告をし合ったり、地域のかたにごあいさつをできる機会でもあるので、いっそう大切な場になりました。

アナウンサーになる夢を、
家族のように応援してくれた

アナウンサーを志したのは、高校生の頃でした。サッカーが大好きで、「サッカーの魅力を、みんなに知ってほしいな」と思っていました。

Profile

2017年、アナウンサーとしてテレビ朝日に入社。現在、「やべっちF.C. ~日本サッカー応援宣言~」、「ABEMA NEWS」等で活躍中。無類のサッカー好きとしても知られる。目標はワールドカップ取材。

才能の
開花の種は
ココに！



城下町の風情があるまちなみ

老舗や代々暮らしているかたが多く、
近所づきあいが盛んです。多世代の
かたと話す習慣が仕事にも生かされる
そうです。

そんな私に、父が「それなら、アナウンサーを目指してみたら?」と勧めてくれ、道が開けたんです。地域の方々は、私の夢を心から応援してくれました。受験勉強や就職活動をしていた頃は、うまくいくようにと温かく見守ってくれ、成功したことを報告した時は、みんな家族のように喜んでくれました。今も地元を歩いていると、「番組見ているよ! 頑張ってるね」などと声をかけていただき、本当に感謝しています。

アナウンサーの仕事は、取材でいろいろな場所を訪れます。初対面のかたや、世代の異なるかたにお話をうかがう場面もたくさんあります。私は、佐倉市で過ごす中、近所の

おばあちゃん、おじいちゃんをはじめ、自分より年上のかたとも話すことが日常の中にあつたため、いざ、アナウンサーとして取材をする時も、自分より年上のかただから…と物怖じしてしまうことなく、積極的にお話をうかがうことができています。これも本当に、地域のかたに育てていただいたおかげですね。

佐倉ならではの、 ご縁が広がる環境を生かして

今、夢を追っている子どもたちには、ぜひ、そんな佐倉ならではの
ご縁が広がる環境を生かしてチャレンジしてほしいです。やりたいことを見つけたら、周りの大人に相談してみてください。佐倉には、いろいろな知恵や才能を持ったかたがいますから、きっと、夢に近づく出会いがあります。そして何より、温かく見守り、支えてくれる人がいます。私も、ここまでこられたのは、自分の意志だけではなく、周囲の支えがあったからだづくづく感じています。

これからも、自分の軸となっている佐倉愛を大切にしながら、いろいろ挑戦していきたいです!

自分の意志だけじゃない。
夢を実現できたのは、
佐倉でのご縁のおかげです。

